観音寺は天王山の東半腹にあり、真言宗にして、仏殿の本尊は観世音の立像、聖徳太子の作なり。祖師堂には弘法大師の像を安置す。木食以空僧正中興して今の如く再建あり。「当寺の客殿より淀八幡の風景眼下に遮りて魂を傷るの佳境なり」